

授業科目名・形態	公衆衛生看護活動展開論 I 演習	必修・選択の別	選択	単位数	1
科目担当者氏名	中村 みえ子	実務経験の有無	有	開講期	3年前期

【授業の主題】

公衆衛生看護活動は、地域全体をひとつのまとまりとし、地域で生活している人々の健康や生活の質(QOL)の向上を目指す活動である。公衆衛生看護活動の実践活動の1つであり、保健師活動の土台であり出発点である地域診断の過程、地域診断で得られた健康課題を解決するためのより具体的実践的な事業計画の立案・評価までを演習を通して学ぶ。

【到達目標】

- 1) 地域の人々の生活と健康を多角的にアセスメントする方法を理解する。
- 2) 地域の顕在的・潜在的健康課題を抽出する方法を理解する。
- 3) 地域健康課題に対する支援計画（保健活動計画）の立案方法を理解する。
- 4) 予算の仕組みや保健活動計画に必要な予算策定方法を理解する。

【授業計画・内容】

第1回	地域診断の概念・目的・意義	第13回	保健活動計画（事業計画）の作成 （グループ演習）
第2回	情報の収集	第14回	保健活動計画（事業計画）の作成 （グループ演習）
第3回	情報の分析・問題・課題の明確化	第15回	保健事業計画の発表 授業のまとめ
第4回	情報の収集（グループ演習）		
第5回	情報の収集（グループ演習）		
第6回	地域診断の理論モデル		
第7回	保健活動計画の策定・評価		
第8回	保健師の業務測定		
第9回	保健師の業務測定（演習）		
第10回	地域保健計画（位置づけ・評価等）		
第11回	予算の仕組み・算出方法		
第12回	予算の算出方法（演習）		

【授業実施方法】

講義、演習

【授業準備】

教科書をよく読むこと。

【主な関連する寡黙】

公衆衛生看護学の科目全般

【教科書等】

公衆衛生看護学.jp 第4版 データ更新版 インターメディカル 2019
国民衛生の動向 2020/2021 一般財団法人 厚生労働統計協会

【参考文献】

授業にて適宜紹介する。

【成績評価方法】

筆記試験 85%、課題レポート・演習への取組等 15%により総合的に評価する。

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

町役場で保健師として、住民の生涯を通じた健康づくり支援や、多様な住民・地域組織団体との協働による健康なまちづくり業務等の地域保健活動を経験した。

日常の地域保健活動の方向付けとなり地域の健康課題の発見（地域診断）から課題解決までを、PDCA サイクルのもとで、関係機関や住民と共に推進することの必要性を、在職中に事例を織り交ぜながら授業を進めたいと思う。

【学生へのメッセージ】

即実践につながる科目です。積極的な演習により身につくことが多い科目なので、積極的に取り組んでください。授業の流れを意識しながら学びましょう。